



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 日新電機株式会社

コード番号 6641

URL <http://nissin.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畑 英明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舌間 修平

(TEL) 075-864-8315

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,662	△3.8	1,939	36.2	2,081	31.0	1,419	83.5
27年3月期第2四半期	44,357	△6.6	1,424	△52.4	1,588	△45.2	773	△49.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 369百万円(△86.6%) 27年3月期第2四半期 2,763百万円(△8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	13.28	—
27年3月期第2四半期	7.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	129,236	78,648	58.5
27年3月期	124,948	79,109	60.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 75,666百万円 27年3月期 75,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	12.1	11,000	23.2	11,000	19.5	7,000	38.5	65.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	107,832,445株	27年3月期	107,832,445株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	957,483株	27年3月期	957,386株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	106,875,014株	27年3月期2Q	106,877,709株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 連結受注及び販売の状況	9
(2) 海外売上高	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の売上高は、前年同期比3.8%減少の42,662百万円となりました。売上高の事業セグメント別内訳は、「電力機器事業」が19,040百万円(前年同期比1.9%減)、「ビーム・真空応用事業」が6,314百万円(前年同期比29.9%減)、「新エネルギー・環境事業」が9,030百万円(前年同期比4.3%増)、「ライフサイクルエンジニアリング事業」が8,276百万円(前年同期比13.5%増)であります。「電力機器事業」の減少は、海外の電力会社向けが減少したこと等によるものです。「ビーム・真空応用事業」の減少は、高精細・中小型FPD(フラットパネルディスプレイ)製造用イオン注入装置が需要の谷間で一時的に減少したこと等によります。「新エネルギー・環境事業」の増加は、水処理場向けの増加等によるものです。「ライフサイクルエンジニアリング事業」の増加は、国内の一般民需の増加によるものです。

経常利益は、企業体質の改革・強化を推進し、コストダウンなど当社グループをあげて収益向上に努めた結果、2,081百万円(前年同期比31.0%増)となりました。「ビーム・真空応用事業」以外のすべての事業セグメントで増益となりました。

特別利益につきましては、政策保有株式の一部を売却したことによる投資有価証券売却益221百万円、中国の子会社である日新電機(呉江)有限公司について清算費用等の見直しを行い、関係会社整理損失引当金戻入額139百万円を計上しました。特別損失につきましては、中国の子会社である日新高技電機(東莞)有限公司について、清算手続きの進捗に伴って増加すると見込まれる清算費用等を見積もり、関係会社整理損41百万円を計上しました。

以上を踏まえ、法人税等の計上を行った結果、非支配株主に帰属する四半期損益控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,419百万円(前年同期比83.5%増)となりました。

また、期末配当予想を1株当たり7円と公表しておりましたが、平成28年3月期の連結業績予想等を踏まえ、1円増配の1株当たり8円とさせていただきます。

なお、当社グループの業績は、官公庁向け及び一般民需案件で第4四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産の部は、当第2四半期末で129,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,288百万円増加しました。これは営業債権の回収等により受取手形及び売掛金が減少しましたが、有価証券、たな卸資産が増加したこと等によるものです。

負債の部は、当第2四半期末で50,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,749百万円増加しました。これは前受金が増加したこと等によるものです。

純資産の部は、当第2四半期末で78,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ461百万円減少しました。これは利益剰余金が四半期純利益による増加はあったものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の動向には不透明な要素が多いものの、当第2四半期の業績を勘案し、平成27年10月28日に売上高1,200億円、営業利益110億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円と、売上高は変更しておりませんが、利益については上方修正をしております。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税効果会計適用後の実効税率を見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更  
いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会  
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載  
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売  
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方  
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,445	12,210
受取手形及び売掛金	50,736	40,218
有価証券	8	5,958
たな卸資産	21,843	31,390
繰延税金資産	3,233	3,146
その他	4,143	3,364
貸倒引当金	△343	△319
流動資産合計	90,066	95,968
固定資産		
有形固定資産	24,786	24,132
無形固定資産	1,428	1,352
投資その他の資産		
その他	8,908	8,038
貸倒引当金	△242	△254
投資その他の資産合計	8,666	7,783
固定資産合計	34,881	33,268
資産合計	124,948	129,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,419	20,833
短期借入金	3,892	3,524
未払費用	6,784	6,289
未払法人税等	330	453
前受金	4,809	10,579
その他の引当金	1,085	950
その他	3,084	1,594
流動負債合計	39,406	44,224
固定負債		
退職給付に係る負債	2,175	2,471
環境対策引当金	2,273	2,273
その他の引当金	533	376
その他	1,449	1,242
固定負債合計	6,432	6,363
負債合計	45,838	50,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,252	10,252
資本剰余金	6,679	6,679
利益剰余金	53,761	54,432
自己株式	△301	△301
株主資本合計	70,392	71,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,926	2,389
繰延ヘッジ損益	5	△0
為替換算調整勘定	4,869	4,145
退職給付に係る調整累計額	△2,218	△1,932
その他の包括利益累計額合計	5,583	4,602
非支配株主持分	3,133	2,981
純資産合計	79,109	78,648
負債純資産合計	124,948	129,236

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	44,357	42,662
売上原価	32,292	29,968
売上総利益	12,064	12,693
販売費及び一般管理費	10,640	10,753
営業利益	1,424	1,939
営業外収益		
受取利息	26	32
受取配当金	65	75
為替差益	53	88
その他	135	77
営業外収益合計	280	274
営業外費用		
支払利息	73	53
その他	43	79
営業外費用合計	116	132
経常利益	1,588	2,081
特別利益		
投資有価証券売却益	—	221
関係会社整理損失引当金戻入額	—	139
特別利益合計	—	360
特別損失		
関係会社整理損	—	41
事業整理損	103	—
特別損失合計	103	41
税金等調整前四半期純利益	1,484	2,400
法人税等	708	962
四半期純利益	775	1,437
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	773	1,419



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	775	1,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	△537
繰延ヘッジ損益	5	△5
為替換算調整勘定	1,409	△814
退職給付に係る調整額	371	289
その他の包括利益合計	1,987	△1,067
四半期包括利益	2,763	369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,578	439
非支配株主に係る四半期包括利益	185	△69

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力機器 事業	ビーム・ 真空応用 事業	新エネル ギー・環境 事業	ライフサイク ルエンジニア リング事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,401	9,003	8,659	7,292	44,357	—	44,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	12	0	675	803	△ 803	—
計	19,517	9,016	8,659	7,967	45,160	△ 803	44,357
セグメント利益	217	762	592	491	2,063	△ 638	1,424

- (注) 1 セグメント利益の調整額△638百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、全社費用△598百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び製造間接費の配賦差額です。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力機器 事業	ビーム・ 真空応用 事業	新エネル ギー・環境 事業	ライフサイク ルエンジニア リング事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,040	6,314	9,030	8,276	42,662	—	42,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104	61	—	759	926	△ 926	—
計	19,145	6,376	9,030	9,036	43,588	△ 926	42,662
セグメント利益又は 損失(△)	583	△ 695	910	882	1,680	259	1,939

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額259百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用254百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び製造間接費の配賦差額です。
- 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結受注及び販売の状況

## 1. 受注状況

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成26年4月～ 平成26年9月)		当四半期 (平成27年4月～ 平成27年9月)		対前年同期比 増 減		前 期 (平成26年4月～ 平成27年3月)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	金額	構成比(%)
電力機器事業	24,464	44.3	23,819	37.8	△644	△2.6	51,158	41.5
ビーム・真空応用事業	7,419	13.4	16,853	26.7	9,434	127.2	27,213	22.1
新エネルギー・環境事業	12,311	22.3	11,823	18.7	△487	△4.0	23,345	18.9
ライフサイクルエンジニア リング事業	11,028	20.0	10,613	16.8	△414	△3.8	21,590	17.5
合 計	55,222	100.0	63,110	100.0	7,887	14.3	123,306	100.0

## 2. 販売実績

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成26年4月～ 平成26年9月)		当四半期 (平成27年4月～ 平成27年9月)		対前年同期比 増 減		前 期 (平成26年4月～ 平成27年3月)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	金額	構成比(%)
電力機器事業	19,401	43.7	19,040	44.6	△360	△1.9	47,282	44.2
ビーム・真空応用事業	9,003	20.3	6,314	14.8	△2,689	△29.9	16,185	15.1
新エネルギー・環境事業	8,659	19.5	9,030	21.2	371	4.3	24,033	22.4
ライフサイクルエンジニア リング事業	7,292	16.5	8,276	19.4	983	13.5	19,588	18.3
合 計	44,357	100.0	42,662	100.0	△1,695	△3.8	107,090	100.0

## (2) 海外売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成26年4月～平成26年9月)		当四半期 (平成27年4月～平成27年9月)	
	金 額	連結売上高に 占める割合(%)	金 額	連結売上高に 占める割合(%)
海外売上高				
アジア	12,660	28.5	10,165	23.8
その他	1,699	3.9	1,538	3.6
合 計	14,359	32.4	11,703	27.4